

第7章

参考資料

(実践校等が作成した各種資料の例)

- ✓ 児童生徒のアレルギー調査のお願い（例）
- ✓ 児童生徒のアレルギー調査シート（例）
- ✓ 児童生徒の疾病把握シート（例）
- ✓ 農山漁村体験活動の参加同意書（例）
- ✓ 事前に実施する下見チェックリスト（例）
- ✓ 当日（体験活動前）に実施する下見チェックリスト（例）
- ✓ 緊急時の対応に関する連絡（例）
- ✓ 宿泊先に送付する配慮を要する児童生徒一覧表（例）
- ✓ 児童生徒の自己紹介カード（例）
- ✓ 受入れ側への挨拶の手紙（例）
- ✓ 民泊情報の一覧表（例）
- ✓ 児童生徒向け事前学習用ワークシート（例）
- ✓ 児童生徒向け事後学習用ワークシート（例）
- ✓ 受入れ側への御礼の手紙（例）
- ✓ 保護者向けアンケート（例）
- ✓ 会計報告書（例）
- ✓ 「生きる力」の測定・分析ツール アンケート用紙

児童生徒のアレルギー調査のお願い（例）

○学年保護者の皆様へ

平成○○年○月○○日

○○学校
校長 ○○ ○○

農山漁村体験活動における保健アレルギー調査のお願い

立春の候、保護者の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。
さて、忙しい中ではありますが、来年度実施予定の農山漁村体験活動の準備も始まり、事前指導として○○を実施いたしました。
次に旅行先の民泊家庭・宿舍及び活動場所の食事施設におけるアレルギー事故を防ぐため、保険アレルギー調査アンケートを下記の要領で実施いたします。修学旅行を安全実施するべく、ご理解、ご協力をお願いいたします。なお、調査内容は個人情報でありますので、学校・旅行会社間で厳重に管理し、農山漁村体験活動の終了後には資料は回収し、学校にて破棄いたします。

記

1. 旅行日 平成○○年○月○○日（ ）～平成○○年○月○○日（ ） ○泊○日
2. アンケート 農山漁村体験活動 保健アレルギー調査
3. 目的 農山漁村体験活動の民泊家庭・宿舍及び活動場所の食事施設におけるアレルギー事故防止のため。
〔旅行会社依頼分〕
 - ① 食事施設、宿泊施設は大量調理を行っているため、調理器具や食器等から微量混入は防げない可能性があります。
 - ② 加工食品、調味料等につきましては、原材料及び成分（副材料）はすべて把握できない為、完全には除去できませんのであらかじめご理解、ご了承ください。
 - ③ アレルギー除去食については、各施設及び民泊先で代替え食とさせていただきます。ただし、アレルギーが多品目に及ぶ方や特別な食材が必要な方に関しては、直接保護者の方と施設間にて打ち合わせていただく場合がございます。
 - ④ 重度なアレルギーの方（微量混入で生死に関わる症状を起こす可能性がある方）で施設の調理責任者が受け入れは困難と判断した場合や、日程が差し迫ってからのお申し出があった場合につきましては、受け入れ態勢が困難であるため対応をお断りする場合もございます。なお、重度の方の受け入れ案としましては、冷凍真空パック等での食材の持入をお勧めいたします。
4. 資料提出先
 - (1) 株式会社○○（旅行会社）
〒000-0000 住所： 電話番号：
※ アレルギー調査の資料は、担当の旅行会社より以下の宿泊施設先及び食事場所に提供されます。
 - (2) ○○地域協議会 ※ 実施地域における窓口組織
〒000-0000 住所： 電話番号：
 - (3) ホテル○○ ※ ○泊目の宿泊施設及び夕食場所
〒000-0000 住所： 電話番号：
5. 提出方法
 - (1) 提出先
生徒を通して学級担任にご提出をお願いします。
 - (2) 提出期限
平成○○年○月○○日（ ） 厳守

（以 上）

<問い合わせ先>

○○学校

電 話：

F A X：

担当者：○○（学年主任）

児童生徒のアレルギー調査シート（例）

農山漁村体験活動 健康調査票

生徒氏名	:		緊急連絡先	:	(昼)
保護者氏名	:	(印)	:	:	(夜)

1. アレルギー情報

食品アレルギー	☐ なし ☐ あり 食品名 () 症 状 () 対 応 1. 自分で取り除く等の対応が可能であるため、配慮は不要である。 2. 代替や除去などの配慮が必要である。
動物アレルギー	☐ なし ☐ あり 動物名 () 症 状 ()
羽毛アレルギー	☐ なし ☐ あり 症 状 () 対 応 1. 寝具の交換を希望する。
薬アレルギー	☐ なし ☐ あり 薬品名 () 症 状 ()
その他のアレルギー (昆虫、天然ゴム、運動を行うことで誘発されるもの等)	☐ なし ☐ あり 対 象 () 症 状 ()

2. 身体情報

現在治療中の病気や怪我はありますか？ (体質含む)	☐ なし ☐ あり 病 名 ・ 症 状 () 医師の指示・配慮事項 ()
--------------------------------	---

3. その他、心配なことや知っておいてほしいこと

4. 内科校医との面談を希望されますか

- ☐ いいえ
☐ はい

食物名 < _____ >

食物名< >

食物名< >

129

児童生徒の疾病把握シート（例）

氏名	既往症	服薬 [※]		車酔い		体質	備考
		服用状況	服薬状況	症状	服薬		
〇〇 〇〇				時々	なし		
〇〇 〇〇	アレルギー性鼻炎 アトピー性皮膚炎		症状が出た時 （自分で判断可）	時々	なし	卵アレルギー	
〇〇 〇〇				酔わない	あり	麻酔を受けたことがない	
〇〇 〇〇				時々	あり		
〇〇 〇〇				時々	あり		
〇〇 〇〇				いつも	あり	ネコアレルギー	
〇〇 〇〇	ハウスダストアレルギー	点眼薬・点鼻薬	症状が出た時	時々	あり		
〇〇 〇〇	夜尿症	□□錠	寝る前に1回	酔わない	ない		

※ 児童生徒に服薬させる場合は、以下の対応が考えられます。

- 常用薬の場合：服薬したか毎回必ず確認
- 常備薬の場合：事前に保護者に服薬の可否を確認

農山漁村体験活動の参加同意書（例）

○学年保護者の皆様へ

平成○○年○月○○日

○○学校
校長 ○○ ○○

農山漁村体験活動の実施及び参加同意書についてのお知らせ

立春の候、保護者の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
さて、児童・生徒も○学年となり、農山漁村体験活動の実施の時期も近づいてまいりました。つきましては、下記の要領で実施いたしますので、主旨をご理解の上、右記の参加同意書をご提出ください。なお、本同意書は農山漁村体験活動○日目に実施する「コース別体験学習」の参加同意書も兼ねております。ご理解・ご協力の程、お願い申し上げます。

記

- 1. 目 的
(1) ○○○○○○
(2) ○○○○○○
(3) ○○○○○○
- 2. 旅 行 日 平成○○年○月○○日 (□) ～ ○月○○日 (□) : ○泊○日
- 3. 旅 行 先 ○○県○○市○○
- 4. 日 程 ・ 経 路

	行 程
○月○○日 (□)	X : XX ○○集合 ⇒ X : XX ○○出発 ⇒ X : XX ○○到着 ⇒ X : XX ○○出発 ⇒ X : XX ○○到着 ⇒ X : XX ～ X : XX 昼食 ⇒ X : XX ○○到着 ⇒ X : XX 入村式 ⇒ X : XX ～ 各民泊先へ (夕食・宿泊)
○月○○日 (□)	終日、各民泊受入家庭にて農山漁村体験活動を実施
○月○○日 (□)	...
○月○○日 (□)	...

- 5. コース別体験学習
○日目には、コース別体験学習を実施いたします。農山漁村体験活動前にも学校にて事前指導を行い、当日は現地団体による指導の下、安全に留意しながら行います。○○○○の自然や文化を肌で感じることができるだけでなく、学校では体験できない自然の偉大さを感じ、地域課題や環境問題などについても深く考察させることをねらいとしています。

	行 程
A 体験	X : XX ○○出発 ⇒ X : XX ○○到着、A 体験 ⇒ X : XX ○○出発 ⇒
B 体験	X : XX ○○出発 ⇒ X : XX ○○到着、B 体験 ⇒ X : XX ○○出発 ⇒
C 体験	X : XX ○○出発 ⇒ X : XX ○○到着、C 体験 ⇒ X : XX ○○出発 ⇒

農山漁村体験活動の参加同意書（例）

6. 費用 生徒1人あたり 予定 XX,XXX 円（積立金より引き落とし）
7. 服装 私服（〇〇生らしい服装。行動時は華美な服装、ジャージ、スウェット、サンダル等は禁止。）
8. 参加者 引率者：副校長1名、〇学年の担任他教職員〇名（合計〇〇名）
9. 宿泊先
1泊目：各民泊受入家庭
2泊目：各民泊受入家庭
3泊目：〇〇〇〇ホテル

＜本件に関する問い合わせ先＞
〇〇学校
電話番号： 0XX-XXX-XXXX
担当者： □□、□□

きりとり

農山漁村体験活動 参加同意書

提出期限 平成〇〇年〇月〇〇日（□） 厳守

〇〇学校長殿

〇月〇〇日（□）～ 〇月〇日（□）で実施される農山漁村体験活動、及びコース別体験学習に参加することに

同意します ・ 同意しません

平成〇〇年__月__日

〇年__組__番 生徒氏名： _____

保護者氏名： _____ ⑩

※ 農山漁村体験活動に参加する上で、特に担任に伝えておきたいことがありましたら通信欄にご記入ください。

通 信 欄

事前に実施する下見チェックリスト（例）

7 チェックリスト

(1) 下見・事前チェックリスト

行事名		実施月日 / () ~ / ()
学校名		校長名 (印)
利用施設名		記載者

下見でのチェック項目【下見実施日① / (), ② / (), ③ / ()】

1	施設の安全管理体制および安全マニュアルと、学校の校外学習安全マニュアルとを比較して、施設職員とともに妥当性を検討したか
2	施設の活動プログラムの実施・中止判断基準と、学校の実施・中止判断基準を、施設職員とともに適切であるか協議したか
3	施設職員と日程等についての妥当性、想定される危険・事故などの情報を交換したか
4	危険箇所の確認と回避策・対応策の検討をしたか
5	避難経路、避難場所、本部となる場所、AEDの設置箇所、人員配置の確認をしたか
6	児童生徒の動きを想定して、施設・移動経路・活動場所の確認と安全点検をしたか
7	通信受信手段（携帯電話、トランシーバー、ラジオ等）の電波状況など確認したか。
8	児童生徒の移動（輸送）方法、乗降の場所、移動場所は妥当か
9	交通機関（鉄道、バス、タクシーなど）や利用する駅などと打ち合わせをしたか
10	緊急時に必要と予想される病院・警察・消防などの場所・電話・内容などを確認したか

事前に確認すべきチェック項目

1	校外学習（行事）およびその活動内容は、学校の教育目標と合致しているか。また、活動のねらいと教育的意義は適切であるか
2	児童生徒にかかる心身両面の負担は適切であるか
3	天候、気温、日没時間を確認したか。また、期日・日程・プログラムに無理はないか
4	予備日や雨天案など、代替りのプログラムは適切に用意されているか
5	活動の内容に対して引率者の人数は適切か（学校指導要覧 第2章「校外学習」参照）
6	引率者の中に、同施設での活動経験者がいるか確認しているか
7	安全や救急に関する担当者や学校待機職員も含めた指導体制は整っているか
8	児童生徒の輸送方法・経路等について、委託業者や利用する交通機関や駅などと調整されているか
9	下見での情報、直近に同様に実施した他校の情報などを計画に反映させているか
10	「安全管理上の引き継ぎ事項の総括」（インシデント）を活用して、安全管理を行っているか
11	「緊急時対応図」「携帯用マニュアル」は引率者全員分用意しているか
12	緊急時に対応できるように、主たる活動ごとの児童生徒名簿は適切に配備・管理されているか。また施設には提出したか
13	食物アレルギーなど、特別に配慮が必要な児童生徒の把握と対応方法についてまとめられているか
14	上記13の児童生徒に対する配慮事項について、引率する全教員が対応できるか。
15	児童生徒・学校の持ち物は、実施計画案に明記され、適切であるか
16	避難経路（矢印などで示す）と避難場所、およびAEDの設置場所は、児童生徒用のしおりに記載されているか
17	保護者への説明会は実施したか ⇒ 【 / () 】実施
18	実施計画案について、職員会議・学年会などで共通理解され、実施時には全教職員がすぐに活用できるようになっているか（実施時には、電話近くに置かれるなど）

当日（体験活動前）に実施する下見チェックリスト（例）

(2) 当日チェックリスト

活動前のチェック項目

行事名	行事の実施月日
学校名	/ () ~ / ()
施設名・活動名	記載者
1	活動の実施・中止判断のための情報を集めているか
2	計画段階と状況が変化していないか確認したか
3	校長は、活動の実施・中止について関係者（施設長、添乗員など）と協議を行ったか
4	児童生徒とともに、避難経路・避難場所・AED設置場所の確認をしたか
5	気象情報等を入手し、注意を払っているか
6	児童生徒の人員（参加・不参加の人数）を確実に把握しているか
7	児童生徒の健康状態を確実に把握しているか
8	食物アレルギーの児童生徒に対して、活動前の健康観察をしているか。
9	緊急時に、活動本部で児童生徒の状況把握ができる体制を整えているか
10	「緊急時対応図」「携帯用マニュアル」は引率者全員が持参しているか。

危険に関するチェック

1	危険な生物（例：ヘビ、ハチ、ムカデ等）がいないか確認してあるか
2	ふれると害のある植物（ヤマウルシ、ヤマハゼ等）がないか確認してあるか
3	落雷からの避難場所はあるか
4	定められた活動時以外に、海岸などの水辺に行かないように指導したか
5	土砂崩れ箇所はないか、土砂崩れの心配な場所はないかを確認したか
6	道具の使用について指導したか
7	熱中症、やけど、薬の服用などに対する指導をしたか
8	

活動中のチェック項目

1	活動の実施・中止判断のための情報を集めているか
2	児童生徒とともに、避難経路・避難場所・AED設置場所の確認をしたか
3	気象情報等を入手し、注意を払っているか
4	緊急時の児童生徒の状況把握ができる体制がととのっているか
5	計画段階と現地の状況が変化していないか
6	参加者の健康状態に変化がないか
7	人員確認が適切に行われているか
8	機会をとらえて、ルールや指示を守らせる指導をしているか
9	引率者および現地スタッフとのミーティングは適宜効果的に行われているか
10	状況の変化により、柔軟にプログラムを変更できるようになっているか
11	児童生徒の健康状態・活動状況などの報告は確実にされているか
12	
13	

出典）平成30年度版 校外学習（行事）の安全管理体制の整備に向けて（校外学習安全マニュアル）
豊橋市立章南中学校カッターボート転覆事故を教訓として（豊橋市教育委員会）

緊急時の対応に関する連絡（例）

平成〇〇年〇月〇〇日

○学年保護者の皆様へ

〇〇学校
〇年 1 組担任 〇〇 〇〇
〇年 2 組担任 〇〇 〇〇

農山漁村体験活動における緊急対応について

初夏の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。
また、日頃より本校の教育活動に ご理解、ご協力をいただきありがとうございます。さて、農山漁村体験活動の実施にあたり、緊急時の対応について、下記のように対応していただきたく、ご連絡申し上げます。

- 1. 当日の朝について
〇月〇日（□）の朝、必ず検温をお願いします。体温が 38.0℃ 以上の場合には、必ず医師の診断を受けてください。なお、診断結果が感染症等の場合には、その日から出席停止となるため、農山漁村体験活動には参加することができません。感染症以外の場合は、ご家庭の判断で途中から参加することができます
- 2. 欠席する場合
当日、急に欠席する場合は、午前 6 時 50 分～7 時 00 分までに、保護者の方が直接連絡をお願いします。
〔連絡先〕 〇〇学校 ： 0 X X - X X X - X X X X
- 3. 遅れて参加する場合
やむをえずに出発時刻（X 時 X X 分）に遅れた場合、あるいは身体の具合が優れず 2 日目以降から参加する場合等は〇〇学校に連絡の上、保護者の方同伴で〇〇〇〇（農山漁村体験活動の実施地域）までお越しください。〇〇〇〇の連絡先と交通手段は、以下の通りです。

〇〇〇〇

住所：〇〇県〇〇市〇〇 1 - 1

電話：0 X X - X X X - X X X X

(<http://www.>_____)

- (1) JR 利用の場合
 - 1. 〇〇新幹線 〇〇駅で下車
 - 2. 〇〇駅より、□□バス「□□行」に乗車
 - 3. バス停「□□」で下車し、〇〇〇〇の送迎車もしくはタクシーで〇〇〇〇へ
 - (2) 自家用車の場合
〇〇自動車道「〇〇〇インター」で降り、国道 X 号線を〇〇方面に向かい、
〇〇〇〇の手前、□□□わきを右折すると見えてきます
4. 現地でけがや病気になった場合
治療は〇〇〇〇周辺の病院で行いますが、傷病の程度によっては、保護者の方に迎えに来ていただくことになります。その場合も上記の交通手段を利用してください。

病 院 名	診 療 科	住 所	電話番号
A 病院	内 科	〇〇県〇〇市〇〇 1 - 2	0XX- XXX - XXXX
B 医院	内 科	〇〇県〇〇市〇〇 2 - 5	0XX- XXX - XXXX
C 総合病院	総 合	〇〇県〇〇市〇〇 2 -12	0XX- XXX - XXXX

- 5. その他
帰校日〇月〇日（□）の、現地の気象状況や交通状況等で、17:00 よりも大幅に帰校時間が遅くなる場合には、連絡メールで各家庭に伝えます。ご理解とご協力をお願いします。

民泊受入家庭 ○○ 様

学校での係・委員会	係	委員会
所属している部活動	部	
自己紹介		
農山漁村体験活動 に対する抱負・期待	好きな食べ物 ()	
	嫌いな食べ物 ()	
備 考		

受入れ側への挨拶の手紙（例）

受入れ側への挨拶の手紙（武蔵野市立第四中学校）

セカンドスクールでお世話になる農家の方に手紙を書こう！

☆手紙の書き方☆

前文

- ①書き出し
- ②「」のあいさつ
- ③様子・安否を尋ねる

本文

- ④近況を伝える
- ⑤用件：手紙を出す目的・内容を書く

束文

- ⑥結びのあいさつ
- ⑦結び（結語）
- ⑧日付
- ⑨名前
- ⑩あて名

今回はお願いの手紙なのでお願いの言葉をしっかりと入れること。
収穫のお忙しい時期を私たちのために時間をとってくださるので、感謝の気持ちを伝える。
自分のことを事前に知ってもらったため、趣味や好きなこと、自己紹介をいれよう！



① 拝啓 農家は九月も、いよいよ秋の気配が感じられるようになってきました。② 私たちはセカンドスクールへ向けて事前学習として新聞作りをしています。私は秋の収穫について調べました。実際に農場へ行って収穫の様子を見ることができ、とても良かったです。③ さて、この度はお忙しい中、私たちが農業体験を受け入れてくださる機会をいただきました。とても感謝しています。④ 今、私たちはセカンドスクールへ向けて事前学習として新聞作りをしています。私は秋の収穫について調べました。実際に農場へ行って収穫の様子を見ることができ、とても良かったです。⑤ さて、この度はお忙しい中、私たちが農業体験を受け入れてくださる機会をいただきました。とても感謝しています。⑥ 九月十七日 敬具 荒木 舞子



- ⑦ と⑧の下のラインをそろえよう！
- ⑧ は行の一番上に書き、少し空けて書くこと。
- ⑩ は相手への敬意を表す、行の一番上から下へ書く。

9月の時候のあいさつ 例
・初秋の候 ・新秋の候 ・秋涼の候 ・爽秋の候 ・秋色の候 ・清涼の候 ・涼風の候
・虫の音の美しいころとなりました。
・残暑去り難く ・野山もにわかに秋色をおび ・爽やかな季節を迎え
・秋の気配が次第に濃くなって ・朝夕はめっきり涼しく ・朝夕毎に涼しくなり
・秋色次第に濃く ・スポーツの秋を迎え など...自分の言葉で季節を感じられるものでもOKです！

民泊受入家庭と児童生徒の対応表

民泊受入家庭の情報

宿泊班の情報

地区	代表者	住所	電話番号	営農類型	ペット	生徒① (班長)	生徒②	生徒③	生徒④	生徒⑤	生徒⑥	生徒⑦
1 A地区	〇〇〇〇	□丁目□-1	XX-XXXX-XXXX	芋、茄子	なし							
2 A地区	〇〇〇〇	□丁目□-2-5	XX-XXXX-XXXX	水稻、いちご	犬(外)							
3 B地区	〇〇〇〇	□丁目□-2	XX-XXXX-XXXX	水稻、家庭菜園	犬(内) ハムスター							
4 B地区	〇〇〇〇	□丁目□-2	XX-XXXX-XXXX	水稻	なし							
5 B地区	〇〇〇〇			果樹	猫(内)							
6 B地区	〇〇〇〇			果樹	猫(内)							
7 C地区	〇〇〇〇			水稻	なし							
8 D地区	〇〇〇〇			畜産加工	犬(外)							
9 D地区	〇〇〇〇			畜産加工	犬(外)							
10 E地区	〇〇〇〇			水稻、家庭菜園	なし							

教員用資料として、民泊受入家庭に関する情報と、各家庭にお世話になる児童生徒の情報が一覧化されていると便利です。
配慮を要する児童生徒のセルを色付け（上記では ）しておくことで、コミュニケーションを密に図るべき受入家庭が見えます。

民泊情報の一覧表（例）

民泊受入家庭振り分け名簿

民泊受入家庭	班	児童・生徒	治療の有無	月経 (期間中の可能性)	夜尿	アレルギー (食物)	アレルギー (動植物)	常備薬	備考
〇〇さん宅	1班	〇〇〇〇							
		〇〇〇〇							
		〇〇〇〇							
		〇〇〇〇							
		〇〇〇〇							
		〇〇〇〇							
		〇〇〇〇							
		〇〇〇〇							
□□さん宅	2班	〇〇〇〇							
		〇〇〇〇							
		〇〇〇〇							
		〇〇〇〇							
		〇〇〇〇							
		〇〇〇〇							
		〇〇〇〇							
		〇〇〇〇							
△△さん宅	3班	〇〇〇〇							
		〇〇〇〇							
		〇〇〇〇							
		〇〇〇〇							
		〇〇〇〇							
		〇〇〇〇							
		〇〇〇〇							
		〇〇〇〇							
◇◇さん宅	4班	〇〇〇〇							
		〇〇〇〇							
		〇〇〇〇							
		〇〇〇〇							
		〇〇〇〇							
		〇〇〇〇							
		〇〇〇〇							
		〇〇〇〇							

児童生徒向け事前学習用ワークシート（例）

事前学習のまとめ新聞（武蔵野市立第四中学校）

○月○日発行				○○まとめ新聞				第○号			
見出し								リード文または見出し	題字	発行者 ○○○○	
											トップ記事 （例）
見出し								セカンド記事 （例）			
参考文献								編集後記			

題字＝新聞名

自分が担当したテーマに関するものが分かるような、工夫したタイトルを考えてみましょう。
また、新聞の発行者として、自分の組・番号・氏名を書きましょう。

調べた中で、1番伝えたいことが分かるように、まとめ方を工夫しましょう。見出しを入れると、読む人が見やすいでしょう。

まとめ新聞の作成に向けて調べ、まとめた内容に関して、自分の意見や感想を述べましょう。

まとめ新聞の作成に当たって、使用した参考資料やURLアドレスを書き込みましょう。

児童生徒向け事後学習用ワークシート（例）

活動新聞の作成に向けたワークシート（千葉市立有吉中学校）

記事は全部で3つ

記事の見出し ① を考えよう

活動新聞に書きたいことを、箇条書きにして書いてみよう

24行 × 17マス

活動新聞の
タイトルを考えよう

- クラス（班）
- 氏 名

記事の見出し ② を考えよう

活動新聞に書きたいことを、箇条書きにして書いてみよう

28行 × 17マス

写真やイラストの
貼付は2枚までと
する。写真サイズは
12行 × 12マス

記事の見出し ③ を考えよう

活動新聞に書きたいことを、箇条書きにして書いてみよう

28行 × 17マス

保 護 者 より

最後に保護者の方からコメントを書いてもらいましょう

活動をまとめる新聞の雛形（千葉市立大宮小学校）

俳句

印象に残っている絵

新聞見出し

ひとこと日記

氏名

活動を終えての感想

思い出ベスト3

1.

2.

3.

受入れ側への御礼の手紙（例）

受入れ側への御礼の手紙（武蔵野市立第四中学校）

お世話になった農家の方々にお礼の手紙を書こう！

セカンドスクールの農家体験では、西木村・下保村・岡崎町・奥平町の農家の方々に大変お世話になりました。
稲刈り、りんごの梨、栗やきのこの収穫など様々な体験が予定されていたのですが、あいにくの雨のため、急きょ内容を変更して対応してくださったことがほとんどでした。また、郷土の食文化の体験で、心を込めたお茶を淹れてくださった印象に残っています。
お忙しい中、貴重な時間を割いて私たちの体験を入れてくださった農家の方々に、心をつめてお礼のお手紙を書きましょう。

★例を参考にしてください！

まずは自分自身で工夫して書きましょう。思い出し残っていることを具体的に、自分の思いや感謝の気持ちを表現しましょう。

拝啓 秋は深まってきましたが、〇〇家の皆さまは、その後いかがお過ごしですか。私は元気に学校生活を送っています。先日はお忙しい中、私たちの農家体験のために貴重な時間を割いていただき、本当にありがとうございました。いろいろなことを教えていただきました……

体験中のことを思い出して

- ・印象深いことで
- ・お世話になったこと
- ・教えたこと
- ・知ったこと

※もし、農業体験で遊具をかけた、失礼などしてしまった場合は、お詫言の文を入れましょう。

この農業体験で学んだことは、これからの中学生生活にいかしていきたいと思っています。最後になりましたが、お世話になった〇〇家のみなさまに改めてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。これから寒くなりますが、お元気で過ごしてください。

十月 吉日

〇〇〇〇様

武蔵野市立第四中学校 一年 組 班 〇〇〇〇 教員

作家の挨拶

自分たちの表現でかまいません。大人の文房も紹介しますが、もっと中学生らしい言葉で自分の目に見える今の東京の秋の景色を、自分の感性でちゃんと伝えて書いてほしい！

- ・木々の葉の色
- ・金木犀の香り
- ・虫の音
- ・朝夕はすづかり風寒くなり
- ・夜空に見える月が

十月の月

- ・秋色も濃くなって参りました。
- ・虫の声が秋を思わせるこの頃、皆様方にはお変わりありませんでしょうか。
- ・時まさに収穫の秋、ご多忙のことと存じます。
- ・冷たいよよかわって参りました。皆様には、一同様お元氣のことと存じます。
- ・そよよと吹くこの涼風、皆様はいかがお過ごしでしょうか。
- ・いよいよ秋も本番となり、皆様ますます健康のことと存じます。
- ・めっきり秋めいてまいりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。
- ・遊み渡る秋、ますますご繁華の事とお喜び申し上げます。
- ・秋時れの日が続く今日この頃、皆様にはますますご健康のこととお喜び申し上げます。
- ・秋も深まっています。



お礼の手紙 ★これからの予定★ ①本日 ②

- ① 書き方説明 → 下書き提出 → 残ったら放課後残残りまたは問題 → 担任チェック
- ② 清書 → 提出 → 終わらない人は放課後残残り、終わるまで。

手紙は「心を伝える」ものです。
農家の方への感謝の気持ちを込めて、しっかりと書いてきましょう！！



保護者向けアンケート（武蔵野市）

平成 27 年 12 月 18 日

武蔵野市教育委員会指導課

【保護者用】

セカンドスクールにおける体験活動の教育的効果調査

問 1 あなたのお子さんは、セカンドスクールについてどう感じたようでしたか。あてはまるものを1つだけ選び、その数字をぬりつぶしてください。

- 1 とても楽しかった 2 楽しかった 3 楽しくなかった 4 まったく楽しくなかった

問 2 あなたのお子さんにとって、セカンドスクールに参加してみてよかったことはどんなことだと思いますか。あてはまるものを全部選び、その数字をぬりつぶしてください。

- 1 豊かな自然の中で散歩や山登りなどができたこと
- 2 田植えや稲刈りなどの農業や林業などが体験できたこと
- 3 わら細工や竹細工など、ものづくりができたこと
- 4 そばうちやその土地の料理をつくるなどの体験ができたこと
- 5 その土地でしか食べられないものを食べることができたこと
- 6 友だちと一緒に生活できたこと
- 7 地元の人たちとのかかわりをもてたこと
- 8 家から離れて民宿などの施設に泊まれたこと
- 9 特になかった

問 3 あなたのお子さんにとって、セカンドスクールに参加してみてうまくいかなかったり、困ったりしたことはどんなことだと思いますか。あてはまるものを全部選び、その数字をぬりつぶしてください。

- 1 体験（農業やものづくり、食づくり、散策や山登りなど）の時間が短かったこと
- 2 食べ物が子どもの口に合わなかったこと
- 3 体験する中で、具合が悪くなったり、けがをしまったりしたこと
- 4 子どもが楽しめたかった体験（農業やものづくりなど）ができなかったこと
- 5 地元の人とあまり、かかわりがもてなかったこと
- 6 途中で家に帰りたくなったこと
- 7 友だちとけんかしたり、仲が悪くなったりしたこと
- 8 特になかった

問 4 セカンドスクールの前後で、自然や生き物に対する感じ方や、まわりの物への興味などについて、あなたのお子さんにどのような変化がありましたか。あてはまるものを全部選び、その数字をぬりつぶしてください。

保護者向けアンケート（例）

保護者向けアンケート（武蔵野市）

- 1 食べ物をそまづにしないようになった
- 2 自然を守ることの大切さを考えるようになった
- 3 命が大切であることを考えたり、小さな生き物に関心をもったりするようになった
- 4 自然に触れることで、自然に親しみを感じられるようになった
- 5 社会や理科などの学習に興味をもつようになった
- 6 特になかった

問5 セカンドスクールの前後で、普段の生活や家族との関係について、あなたのお子さんにどのような変化がありましたか。あてはまるものを全部選び、その数字をぬりつぶしてください。

- 1 自分たちの決めた約束やルールをきちんと守るようになった
- 2 いろいろなことに我慢したり努力したりできるようになった
- 3 食べ物の好き嫌いが少なくなった
- 4 自分のことは自分でできるようになった
- 5 自分から進んであいさつをするようになった
- 6 学校での係や委員会の仕事を進んでするようになった
- 7 様々な問題について、まず自分で解決策を考えるようになった
- 8 失敗をこわがらずにいろいろなことに自分から進んで行動するようになった
- 9 家族と話す機会が増えたり、家の手伝いをしたりするようになった
- 10 特になかった

問6 セカンドスクールの前後で、周りの人に対する接し方や態度について、あなたのお子さんにどのような変化がありましたか。あてはまるものを全部選び、その数字をぬりつぶしてください。

- 1 思ったことが人に伝えられるようになった
- 2 グループなどで活動するときに、リーダーシップをとれるようになった
- 3 相手の話を聞き、相手の立場を考えられるようになった
- 4 仲のよい友だちが多くなった
- 5 何かをする時に友だちと協力するようになった
- 6 地域の人などとのかわりをもてるようになった
- 7 学校や地域の様々な活動に積極的に参加するようになった
- 8 お年寄りを大切にするようになった
- 9 特になかった

保護者向けアンケート（例）

保護者向けアンケート（武蔵野市）

問7 あなたのお子さんは、セカンドスクールから帰ってきたとき、どのような気持ちだったと思いますか。あてはまるものを1つだけ選び、その数字をぬりつぶしてください。

- 1 「もっと早く帰りたいかった」という気持ち
- 2 「ようやく帰ってこられた」という気持ち
- 3 「もう少しいてもよかった」という気持ち
- 4 「まだ帰りたくなかった」という気持ち

問8 セカンドスクールについてあなたご自身はどのように評価しますか。あてはまるものを1つだけ選び、数字をぬりつぶしてください。

- 1 効果的な体験活動である
- 2 どちらかといえば効果的な体験活動である
- 3 どちらかといえば効果を実感できない体験活動である
- 4 効果を実感できない体験活動である

問9 あなたご自身は、機会があればお子さんをもう一度セカンドスクールのような農山漁村での長期宿泊体験に参加させたいと思いますか。あてはまるものを1つだけ選び、数字をぬりつぶしてください。

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 参加させたい | 2 どちらかといえば参加させたい |
| 3 どちらかといえば参加させたくない | 4 参加させたくない |

問10 セカンドスクールの教育的効果を高める上で重要な要素は何だと思いますか。あてはまるものを全部選び、数字をぬりつぶしてください。

- 1 事前・事後学習と組み合わせたカリキュラムとなっていること
- 2 訪問先で豊かな体験を行うことができること
- 3 長期間の滞在期間になっていること
- 4 地元の方との交流があること
- 5 教員や指導員がきちんとついていること
- 6 子どもの自主性を取り入れたカリキュラムになっていること
- 7 体験活動などのねらいが明確になっていること
- 8 普段の学校生活との関連が図られていること
- 9 全体を通したテーマを設定して取り組んでいること
- 10 特になかった

これでアンケートは終了です。御協力ありがとうございました。

平成〇〇年〇月〇〇日

○学年保護者の皆様へ

〇〇学校
○年1組担任 〇〇 〇〇
○年2組担任 〇〇 〇〇

農山漁村体験活動の会計報告

児童・生徒が楽しみにしていた農山漁村体験活動は、無事に終了いたしました。
○日間で得られて経験は、児童・生徒にとって忘れられない楽しい思い出になったと思います。
さて、先生より会計報告をしていただきましたので、農山漁村体験活動でかかった費用を保護者の皆さまにご報告申し上げます。

記

内 訳	金 額	備 考（内 訳）
食 費	198,360 円	朝食：500 円 × 2 回 昼食：610 円 × 2 回 夕食：720 円 × 2 回 夜食（ジュース代）：105 円 × 2 回 飲み物代：160 円 × 5 本 お弁当：550 円 × 1 回 × 38 名
交 通 費	9,345 円	高速料金：10,570 円 ⇒ 教員分（5 名）：1,225 円 ⇒ 児童・生徒分（38 名）：9,345 円
活 動 費	8,600 円	〇〇づくり：200 円 × 38 名 キャンドルサービス料：1,000 円
宿 泊 費	684,000 円	宿泊施設：6,000 円 × 2 泊 × 38 名 農家民泊：6,000 円 × 1 泊 × 38 名
〇 〇 費	〇〇, 〇〇〇 円	〇〇円 × 38 名
〇 〇 費	〇〇, 〇〇〇 円	〇〇円 × 38 名
写 真 代	38,000 円	1,000 円 × 38 名
保 険 料	4,940 円	130 円 × 38 名
振込手数料	1,080 円	食事代の振込手数料：540 円、民泊代の振込手数料：540 円
合 計	〇〇, 〇〇〇 円	

※ 集金いたしました金額の残金は、卒業積立金として積み立ていたしましたので、ご了承くださいますようお願い申し上げます。

（以 上）

「生きる力」の測定・分析ツール アンケート用紙

小学生用

アンケート（ 調査）

名 前 _____（ 男 女 ）

学 年 小学校（ 4年生 ・ 5年生 ・ 6年生 ）

アンケートの考え方

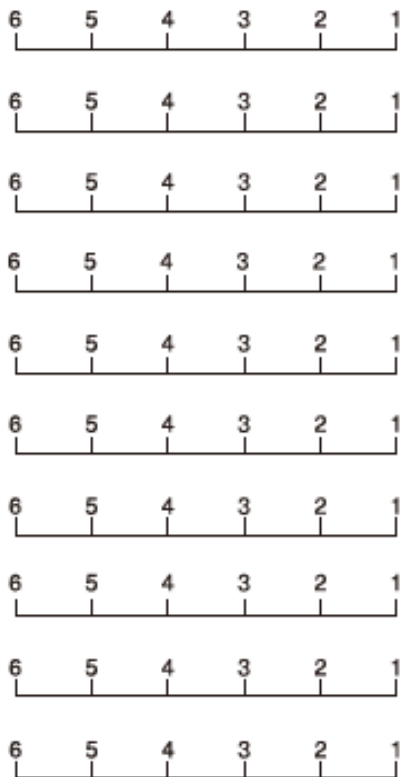
- ☐ 下の質問（しつもん）をよく読み、自分にあてはまるかどうか、「とてもよくあてはまる」から「まったくあてはまらない」までの6段階（だんかい）で答えてください。
- ☐ 自分が、もっともあてはまると思うところに、例（れい）のように○印をつけてください。
- ☐ 考えすぎると答えられなくなることがあります。あまり考えすぎずにドンドン答えてください。

- ・アンケートの結果（けっか）と、学校の成績（せいせき）やキャンプの指導（しどう）はまったく関係（かんけい）ありません。
- ・ひとりひとりのことを調べるのではなく、キャンプに参加（さんか）した子どもたち全体のことを調べています。
- ・ひとりひとりの結果（けっか）を発表したり、他人に言ったりすることはありません。

れい ひと やくそく まも
例. 人との約束が守れる



1. いやなことは、いやとはっきり言える
2. 人のために何かをしてあげるのが好きだ
3. 先を見通して、自分で計画が立てられる
4. 暑さや寒さに、まけない
5. だれにでも話しかけることができる
6. 花や風景などの美しいものに、感動できる
7. 多くの人に好かれている
8. 人の話をきちんと聞くことができる
9. 自分のことが大好きである
10. ナイフ・包丁などの刃物を、上手に使える



「生きる力」の測定・分析ツール アンケート用紙

	とてもよく あてはまる	5	4	3	2	まったく あてはまらない
11. 自分からすすんで何でもやる	6	5	4	3	2	1
12. いやがらずに、よく働く	6	5	4	3	2	1
13. 早寝早起きである	6	5	4	3	2	1
14. 自分かってな、わがまを言わない	6	5	4	3	2	1
15. 小さな失敗をおそれない	6	5	4	3	2	1
16. 人の心の痛みがわかる	6	5	4	3	2	1
17. 自分で問題点や課題を見つけることができる	6	5	4	3	2	1
18. とても痛いケガをしても、がまんできる	6	5	4	3	2	1
19. 失敗しても、立ち直るのがはやい	6	5	4	3	2	1
20. 季節の変化を感じることができる	6	5	4	3	2	1
21. だれとでも仲よくできる	6	5	4	3	2	1
22. その場にふさわしい行動ができる	6	5	4	3	2	1
23. だれにでも、あいさつができる	6	5	4	3	2	1
24. 洗濯機がなくても、手で洗濯できる	6	5	4	3	2	1
25. 前むきに、物事を考えられる	6	5	4	3	2	1
26. 自分に割り当てられた仕事は、しっかりとやる	6	5	4	3	2	1
27. からだを動かしても、疲れにくい	6	5	4	3	2	1
28. お金やモノのむだ使いをしない	6	5	4	3	2	1

⇒ 分析ツールについては、国立青少年教育振興機構HP内
「『生きる力』の測定・分析ツールダウンロード専用ページ」より取得可能